



図7. マンボウ  
2007年7月24日 鳥取県琴浦町赤碓沖 (混獲)

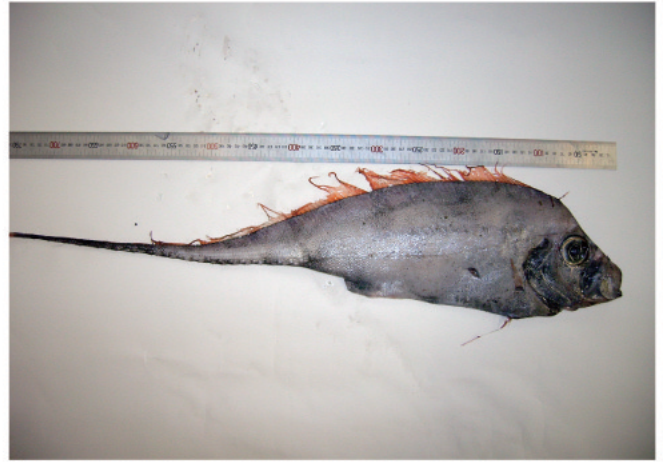


図9. ユキフリソデウオ  
2006年2月19日 鳥取市青谷町長尾鼻沖 (混獲)



図8. マンボウ♀  
2007年11月15日 島根県隠岐海峡 (混獲)



図10. リュウグウノツカイ  
2006年5月28日 兵庫県新温泉町釜屋沖 (混獲)

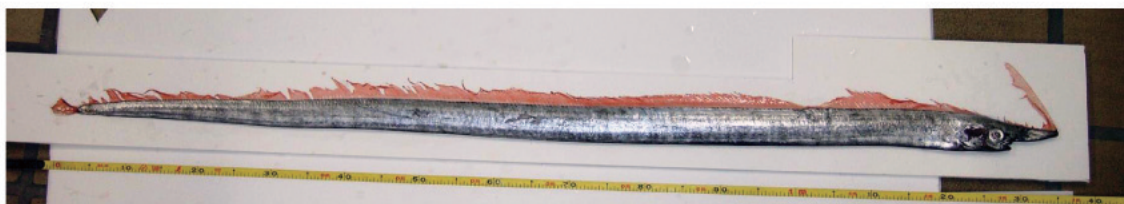


図11. テングノタチ 2006年9月14日 兵庫県新温泉町釜屋沖 (混獲)



図12. スミツキザメ♀ 2006年5月30日 兵庫県新温泉町釜屋沖 (混獲)

## 謝 辞

日本ウミガメ協議会の石原孝氏には、アカウミガメの、しまね海洋館アクアスの大辻功氏にはオウギハクジラの情報等を提供いただいた。また次の方々にはさまざまな方法で調査への協力をいただいた：古田晋平氏・太田太郎氏（鳥取県栽培漁業センター）、川向栄二氏（鳥取県漁業協同組合境港支所）、増田紳哉氏・志村健氏（鳥取県水産試験場）、前田啓助氏（鳥取県水産課）、古山俊彦氏（米子市教育委員会）、宇野政美氏（兵庫県）、田村昭夫氏（倉吉市）、和田年史氏・清末幸久氏・宮谷和重氏・山口勇人氏・高木邦和氏・佐藤隆士氏・永田理雄氏（鳥取県立博物館）。以上の方々に深く感謝の意を表す。最後に、ここに名前はあげられなかったが、海洋動物の情報および標本の提供をしていただいた方々には、とくに厚くお礼申し上げます。

## 引用文献

- 安藤重敏（1993）オオギハクジラ全身骨格標本. 郷土と博物館 **39**(1): 23-24.
- 川上 靖（2002）鳥取県沿岸に多数漂着したヤリマンボウ属（予報）とその他の漂着動物（2000年4月～2002年3月）. 鳥取県立博物館研究報告 **39**: 37-42.
- 川上 靖・平尾和幸・一澤 圭・安藤重敏（2005）島根県温泉津町沖で漁獲された大型マンボウ *Mola mola* の記録. 鳥取県立博物館研究報告 **42**: 29-30.
- 川上 靖・平尾和幸・清末幸久（2004）鳥取県沿岸における漂着動物の記録（2002年4月～2003年12月）. 鳥取県立博物館研究報告 **41**: 1-8.
- 川上 靖・清末幸久・一澤 圭・平尾和幸・安藤重敏（2006）鳥取県沿岸における漂着動物（2004年1月～2005年12月）とアカウミガメに付着していた暖海性紅藻類トゲキヌイトグサ *Antithamnion tanakae*. 鳥取県立博物館研究報告 **43**: 1-5.
- 仲谷一宏（1984）メジロザメ科. In: 日本産魚類大図鑑 解説. (益田一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫 編), pp. 5-6. 東海大学出版会（東京）, 466 pp.
- 相良恒太郎・小澤貴和（2002a）日本周辺におけるマンボウ類に関するアンケート調査結果. 水産海洋研究 **66**(3): 164-167.
- 相良恒太郎・小澤貴和（2002b）4県におけるマンボウ類の漁獲状況. 鹿児島大学水産学部紀要 **51**: 27-33.
- 田村昭夫（1996）日本海に生息する大型動物の剥製. 郷土と博物館 **42**(1): 21-22.